

第121号
卒業生特集

藤枝明誠 ニュース

FUJIEDA MEISEI News

発行 学校法人 藤枝学園 藤枝明誠中学校・高等学校 渉外課広報担当 / Tel 054-635-8155 / Fax 054-635-8494 / Email meisei@fgmeisei.ed.jp / URL https://www.fgmeisei.ed.jp

令和7年3月1日、40期生 362名明誠を卒業します

2025 MEISEIから 未来に羽ばたけ!

Fly to the Future



Congratulations on your graduation!!

広い世界を楽しみ尽くしてください
副担任 山本 航大

卒業おめでとうございます
大事なことは、
負けないコト。投げ出さないコト。
逃げ出さないコト。信じぬコト。
副担任 井田 有香

精力善用 自他共栄
副担任 須田 直之

あなたの木が知識の実を結べば
蒼穹を見下ろす高みに至るだろう
(ナースイル・ホスロー)
副担任 松本 航

祝卒業!
限りある「時間」を大切に
310HR担任 岩本 亮介

一隅を照らす、
これ即ち国宝なり(最澄)
311HR担任 佐藤 公彦

高校生の時のように
ずっと学び続けてください。
どんどん人生がおもしろくなっていきます。
副担任 森 博美

Your future lies in your classroom!!
Peggy

士不可以不弘毅
任重而道远
仁以為己任
不亦重乎
死而後已
不亦遠乎
39HR担任 石川 賢三

守破離
稲見 幸尚

卒業おめでとう。
この先様々な選択を迫られ、迷うことでしょう。
でもどちらを選んだとしてもきょうまっくははず。
止まらないこの世界で胸をはって生きていこう!!
36HR担任 望月 雄大

明日又吹明日風
37HR担任 藤田 智章

できると思えばできる、できないと思えばできない。
自分の限界を決めずに、自分を信じて様々なことに
挑戦していきましょう。
38HR担任 石川 真理子

自分を信じ、
新たなステージで活躍してください。
35HR担任 石垣 光太郎

「夢は大きく持て」
32HR担任 中村 武蔵

「思う念力岩をも通す」
心を込めて行えば
できないことはない
31HR担任 光岡 孝

あなたの後ろに
道はできる!!
33HR担任 金本 鷹

高い山の裾野とは広いものです。
多くの経験を通して
裾野を広げてください。
34HR担任 原田 隆伸

3年学年主任
萩原 正彦



純正一途

祝卒業!

明誠の校訓「初心忘るべからず」の説明の中に「純正一途」という言葉がある。これは純粋で真剣な気持ちを持ち続けることや、一つのことに対して真摯に取り組み姿勢を表し、目標に対する情熱、信念を貫く姿勢を強調している。この考え方は人生の様々な局面において重要である。例えば、目標に向かって努力する際には、純粋な情熱と一途な姿勢が成功を引き寄せる要因となる。人間関係においても、相手に対する真摯な気持ちや誠実さが信頼を築く基盤となる。

では、「純正一途」を実践するためにはどうしたらよいか。まず「目標」を明確にすること。自分が何を大切にしたいのか、どの方向に進みたいのかを明確にすることが重要である。次に「情熱」を持つこと。目標や夢に対して情熱を持ち続けることで、困難な状況にも立ち向かう力が湧いてくる。その次に「誠実さ」を大切にする。他者との関係でも、自分の気持ちに正直であることが信頼を生む要素となる。最後に「継続」する力。一途に取り組むためには、忍耐や継続力が必要だ。小さな努力を積み重ねること、大きな成果が得られる。「純正一途」は、人生を豊かにし、目標達成に向けて強力な原動力となる。ぜひ実践してほしい。活躍を期待する。

充実した3年間



英数科英数コース
37 HR 川口 京華
〔早稲田大学立御前崎中出身〕
〔名古屋学芸大学管理栄養学部に進学〕



最初は慣れなかった高校生活も今振り返ると、とても短かったように感じ、頑張ることも楽しむことも両立でき、充実したものにいったと思います。

学業においては、1年生から放課後学習に参加したり、積極的に英検を受けたりしてました。常に計画的に学習し、自分で決めた目標を達成するように心がけてきました。2年生の時には将来の夢や志望大学が決まり、より一層勉強への気持ちが強まったと思います。受験勉強が本格的になった3年生ではまず時

ただきました。自信がつくような言葉をかけていただいたり、私が納得するまで練習してくださったりしたお二人にはとても感謝しています。とても辛い時期でしたが、今まで一番勉強し自分の目標を達成できたことは私のなかで良い経験になったと思います。

また、振り返ると友達やクラスに恵まれた3年間だったと思います。行事も仲良く協力できる賑やかなクラスで勉強も一緒に頑張ることができ、ずっと話して笑っていられた友達ができ、3年間とても楽しく過ごせました。受験日が近づいて不安になって話していたため、遊澤先生や松下先生に面接練習をお願いし、管理栄養学部を受験することから栄養や病気についての知識、食問題などの専門的なことについても指導していただき、感謝しています。

継続は力なり



英数科英数コース
39 HR 春川 花帆
〔早稲田大学社会科学部に進学〕
〔藤枝明誠中出身〕



私が明誠で過ごした6年間は「継続は力なり」という言葉に強く共鳴してきました。少なくとも私はそう感じます。勉強面においては、中学生の時から疲労を感じていて勉強することにしていました。高校3年生受験生となり、1日でも弱い自分に負けて勉強しないことがあれば、容赦なく過去の自分の仕打ちが幾重にもなる激しい潮の如く私に襲い掛かってきました。

また、志望大学の自己推薦入試の日程が近づき、資料の準備や面接、小論文の練習と一般試験の勉強を平行してい

ました。熟考の上勉強を一時中断することに決めてしまいましたが、推薦入試の後再開をしました。再開した瞬間に「継続は力なり」が襲い掛かってきました。心の中には忽ち暗雲が立ち込めました。何をやるにも焦りが付き纏い、不安な心持になりました。その際に私を支えてくれた家族や励してくれた友人には全く月並みの言葉では感謝を言いたくありません。結果的には大学に合格しましたが、毎日継続して勉学に励む重要性が身に染み込みました。

運動面においては、志望大学でチアリーディングを続けたいと思い、技術の向上に注力しました。家でのストレッチや筋力トレーニングを欠かさず実施しました。いえ、部活の引退後に自らの心の弱さ故、ストレッチを怠ったことがありました。利那ではありましたが、体は不錆鋼のように硬くなりました。慌てて再開しました。また、通っている体操教室では何度でも練習することによって、不可能と思える技でも精進を重ねれば完成させられるのだと実感しました。まさしく「継続は力なり」です。

仲間との思い出



英数科英数コース
31 HR 新居 湊騎
〔早稲田大学商学部に進学〕
〔藤枝明誠中出身〕



藤枝明誠高校で過ごした3年間は、多くの思い出に満ちていました。特に印象深かったのは、修学旅行、体育大会、そして文化祭です。

2年生の修学旅行では、オーストラリアのゴールドコーストを訪れました。初めての海外旅行で、美しいビーチや広大な自然を目の当たりにし、感動しました。ホームステイでは、英語での会話に苦労しましたが、ホストファミリーの優しさに助けられました。自分の殻を破り、コ

きに「トイストーリーマニア」をテーマに企画を行いました。担当ごとに分かれ、意見を出し合いながら準備を進め、当日は多くのお客さんに楽しんでもらうことができました。楽しかった！という声を聞くと、努力が報われたと感じました。3年生のときは、直前に内容の変更を余儀なくされるアクシデントがありました。が、クラス全員で力を合わせて対応しました。チームワークを活かして無事に成功させたことで、クラス全体の絆が深まりました。

これらの行事を通じて、仲間と協力する大切さや、困難を乗り越える力を学びました。藤枝明誠高校での3年間は、仲間と共有した数々の思い出で輝いています。

マネージャーとして



英数科英数コース
38 HR 今福 彩奈
〔群馬県立代田中学校出身〕
〔横浜未来看護専門学校に進学〕



私は明誠で過ごした3年間で様々な経験を通して、人として成長することができたと感じています。

私はバスケットボール部に所属し、マネージャーとしてチームの目標である「日本一」を達成するために日々励んできました。昨年12月に行われた最後の大会ではベスト8と結果は悔しいものとなりましたが、部活動を通して人間性を高めることができました。バスケットボール部では、マネージャーは雑用係ではなく、マネージメントするのが仕事」という方針で活動してい

ていただきました。指導者の方々に感謝しています。

私が充実した高校生活を送ることができたのは多くの方の支えがあったからです。私の思いを尊重してくれた親、相談ののってくれた友人やチームメイト、温かい言葉をかけてくださった先生やチームの関係者の方、そして外に出れば藤枝明誠バスケットボール部を応援してください。日本一に相応しいチームになるためにどう選手を自立させるか、良い影響を与えるかを常に考えてきました。楽しいことより辛いことの方が多く、何度も壁にぶつかりました。しかしその度に周りの人に励まされ、嫌われる勇気をもって根気強く続けることができました。また、広報という役割を任せていただき、企業の方と連携を取りながらの活動もしました。様々な方と関わっていく中で、社会技能の向上ができ、貴重な機会を与

えてくださった指導者の方々に感謝しています。

私が充実した高校生活を送ることができたのは多くの方の支えがあったからです。私の思いを尊重してくれた親、相談ののってくれた友人やチームメイト、温かい言葉をかけてくださった先生やチームの関係者の方、そして外に出れば藤枝明誠バスケットボール部を応援してください。日本一に相応しいチームになるためにどう選手を自立させるか、良い影響を与えるかを常に考えてきました。楽しいことより辛いことの方が多く、何度も壁にぶつかりました。しかしその度に周りの人に励まされ、嫌われる勇気をもって根気強く続けることができました。また、広報という役割を任せていただき、企業の方と連携を取りながらの活動もしました。様々な方と関わっていく中で、社会技能の向上ができ、貴重な機会を与

3年間



英数科英数コース
310 HR 池田 怜謙
〔藤枝明誠中出身〕
〔同志社大学文化情報学部に進学〕



私が明誠高校に入学してから早3年が経過しました。中学校と比べて、似ているようで大きく異なる3年間になりました。

入学初年度こそ新型コロナウイルスの影響は学校生活に色濃く表れていたものの、2年生になり少し緩つと徐々に規制も緩和され、以前の生活に戻ってきました。そのため、直近の先輩方より多くの学校行事や部活動を経験できたことに幸せを感じています。一般公開が再開された青藍祭や大会が中止とならず、参加できたことなどが強く思い出に

残っています。

とりわけ大きな変化は4年ぶりに海外への修学旅行が実施されたことです。オーストラリアへの約2週間の研修で文化や気候の違い、楽しいことや珍しいものをたくさん見たり経験したりすることができ、忘れられない経験となりました。私が所属していた柔道部は一学年上の先輩方が引退した際、部員がごくわずかになってしまいました。一時期は十分な練習ができなくなると危ぶまれていましたが、部員全員が一丸となり、工夫して稽古を継続して

きました。部員だけでなく指導して下さる先生方のご支援もあり、部が一体となって稽古に励むことができました。結果として目標にはあと一歩及ばなかったものの、私は県大会2位、他の部員も県3位と入部して以来最高の成績をおさめることができました。この結果は両親をはじめ指導者の方々や支え合った仲間の協力があったこそだと思えます。本当にありがとうございました。

この3年間は私の人生の中で最も印象に残った3年間でした。この期間に得た経験や仲間は今後の私にとって支えになるでしょう。次は新たな4年間が幕を開けます。社会に貢献するべく、大学でしっかり学び、志望で終わった目標に再挑戦する有意義な期間にします。藤枝明誠の名に恥じぬよう、今後も精進していきます。

令和6年度＜大学合格速報＞ ・赤字は国公立大学

〔国公立大〕	帯広畜産大学	岐阜協立大学	千葉工業大学
横浜国立大学	共立女子大学	京都産業大学	中央医療健康大学校
静岡大学	国際学院大学	京大女子大学	中央大学
豊橋技術科学大学	国際武道大学	中部大学	中京大学
都留文科大学	国士舘大学	帝京大学	帝京大学
静岡県立大学	工業院大学	津田塾大学	日本福祉大学
名桜大学	産業能率大学	帝京科学大学	日本女子大学
〔私立大〕	至学館大学	帝京平成大学	福岡大学
愛知大学	静岡福祉大学	東京国際大学	法政大学
愛知学院大学	静岡理工科大学	東京農業大学	武蔵野大学
亜細亜大学	静岡産業大学	東京理科大学	名城大学
青山学院大学	順天堂大学	同志社大学	明治薬科大学
江戸川大学	城西国際大学	同志社大学	明治学院大学
大阪産業大学	鈴鹿医療科学	東海大学	立命館大学
神奈川大学	聖隷クリストファー大学	京都大学	龍谷大学
神奈川工科大学	摂南大学	東洋大学	早稲田大学
鎌倉女子大学	専修大学	常葉大学	など
関西学院大学	拓殖大学	獨協大学	
関東学院大学	玉川大学	長崎国際大学	
		名古屋学院大学	

令和6年度 特別表彰者

- 〔静岡県私立協会理事長表彰〕
31 HR 一瀬 友希
〔山梨県南都立南都中出身〕
- 32 HR 加藤 波瑠
〔名古屋市立守山中出身〕
- 33 HR 村越 恒太
〔藤枝明誠中出身〕
- 34 HR 木村 隆晴
〔沼津市立今沢中出身〕
- 35 HR 野田 凌吾
〔小牧市立小牧西中出身〕
- 36 HR 原 明美
〔牧之原市立権原中出身〕
- 37 HR 高瀬 煌太
〔藤枝市立大洲中出身〕
- 38 HR 山下 雫
〔藤枝明誠中出身〕
- 39 HR 木場 涼音
〔藤枝市立青島中出身〕
- 310 HR 澤山 未優
〔藤枝明誠中出身〕
- 311 HR 大石 瑛太
〔藤枝明誠中出身〕
- 〔日本私立中学高等学校連合会 会長表彰〕
39 HR 春川 花帆
〔藤枝明誠中出身〕

英数科 修学旅行～オーストラリア～12日間

ホームステイやアクティビティで、多文化社会を肌で感じる貴重な時間でした!



英数科英数コース
29HR 鈴木 里枝
(藤枝明誠中出身)

私たち英数科は約9時間のフライトを経て、南半球の国、オーストラリアのプリズベンで修学旅行を体験してきました。この12

日本を離れて得たもの

日間は、英語を用いて日本と異なる風土や文化に触れる、非常に有意義な時間でした。

オーストラリアは日本とは文字通り環境を異にします。言語から町の景色、食べ物に至るまで、どこにいても新鮮な感覚は薄れませんでした。特に現地の学校の先生や店員さんと

の関りからは、人々の温かく気さくな性格を感じることができました。戸惑いがありつつも、異文化に直接に接したことは自身の視野を広げました。

ホストファミリーとの生活の中では英語で自分の意思を伝えることが必須です。毎日会話を重ねること

で次第に新たな表現を増やせたり、英語に対する抵抗感が薄れたりするのを感じ

ると、心嬉しい気持ちになりました。日本ではなかなか体験できないような生の英語に触れたことは、貴重な財産となりました。

今回の経験は、世界の物

理的な広さ、そして言語を学ぶのは新たな知識や価値観の構築に繋がっていることを教えてくれました。広い視野、様々な視点を持ち、この経験を自身の成長につなげようと思います。



- 《日程表》
- 12月6日(金) 学校発↓成田空港
 - 12月7日(土)・8日(日)「ホームステイ」
 - ↓プリズベンにて市内研修
 - ↓ホストファミリーと合流
 - 12月9日(月)～12月13日(金)「ホームステイ」
 - ↓シャプストンインターナショナルカレッジ
 - ↓英語授業
 - ↓アクティビティへ5日間でそれぞれ体験
 - 12月14日(土)「ホームステイ」
 - ↓ホストファミリーの送迎でシャプストン集合
 - ↓ゴールドコースト
 - 12月15日(日)「ホームステイ」
 - ↓サーファーズパラダイス周辺別研修
 - 12月16日(月)「ホームステイ」
 - ↓シャプストンインターナショナルカレッジ
 - ↓英語授業
 - ↓卒業セレモニー&さよならパーティー
 - 12月17日(火) プリズベン空港↓成田空港↓学校着



普通科 修学旅行～オーストラリア～7日間

英語に対する意欲が高まり、貴重な体験と最高の思い出を作った修学旅行。



普通科英数コース
25HR 戸本 藍
(焼津市立大富中出身)

私たちは一週間、オーストラリアのケアンズへ修学旅行に行き、とても貴重な経験をすることができました。1日目はキュランダへ行

修学旅行での経験

きました。おすすめのスポットを詳しく紹介してくれて、鉄道に乗っていた40分が短く感じました。鉄道

内で食べたカップケーキはどれも甘くて外国にいらると実感しました。その後はコアラやカンガルーを見た

5日目はグリーン島に行き、探検するなど、面白い体験をたくさんすることができました。

私はこの修学旅行を通して、英語の難しさをとても感じました。ホストファミ

リと話している際、聞き取れないという場面が多くありました。私がおもった英語を話すことができれば、ホストファミリーともしっかりと仲良くなれたのではないかと

思っています。今回の経験で、今まで以上に英語に対する意欲が高まりました。オーストラリアで学んだことをこれからの生活に役立てたいです。

- 《日程表》
- 12月7日(土) 学校↓成田国際空港
 - 12月8日(日)「ホームステイ」
 - ↓ケアンズ到着
 - ↓ビーチ(エスフラネード)で買い物
 - ↓フレジューオーター駅より
 - ↓高鉄で自由散策
 - ↓キュランダで自由散策
 - ↓高鉄にて昼食
 - ↓レインフォレストステーションにて
 - ↓アーミータック
 - ↓ワイルドライフパーク
 - ↓アボリジナル文化体験
 - ↓ケアンズ市内到着後、各家庭へ移動
 - 12月9日(月)～11日(水)「ホームステイ」
 - ↓語学研修・校外学習
 - ↓フェアウェルBBQランチ終了式
 - 12月12日(土) ケアンズ港より全員でグリーン島訪問
 - ↓昼食 体験など
 - ↓市内自主研修
 - 12月13日(日) ケアンズ空港
 - ↓成田国際空港↓学校



サッカー部 修学旅行～オランダ～8日間

世界的にサッカーが有名なオランダでの1週間。サッカーの素晴らしさを再確認!



普通科理数コース
24HR 鵜飼 亨真
(静岡県立清水南高等学校出身)

オランダ修学旅行の思い出

私たちサッカー部は12月6日から13日までの8日間で、オランダへ修学旅行に行きました。オランダへの修学旅行で特に心に残っていることは、親善試合と試合観戦です。この2つを紹介します。

まずは親善試合です。オランダのエクセルシオールというチームと40分ハーフの試合をしました。試合が始まると、体格と身体能力の違いに驚きました。

自分より背が大きく、足も速かったです。結果は1対5で負けてしまいました。いろいろなことを体験できた試合でした。

次に試合観戦です。8日間で3試合を観戦しました。中でも一番心に残っている試合は、オランダ1部リーグのフェイエノールトの試合です。まず選手が入場する前の演出に驚きました。

このオランダの修学旅行で、たくさんの貴重な経験をすることができました。このような経験をすることができたことへの感謝の気持ちを忘れず、今後の生活やサッカーに繋がってきたいです。



アムステルダム国立美術館の前で全員集合!



アムステルダム近郊の風車村ザンセスカンスはTHEオランダな風景



日程表
12月6日(金) 学校出発↓成田空港
12月7日(土) 成田空港↓ワルシャワ、シヨン空港到着 ↓オランダ(アムステルダム)空港 ↓平和宮(国際司法裁判所) ↓Eedvisie 試合観戦
12月8日(日) グラウンドで軽くトレーニング ↓Kauken Kampioen Divisie 2024-2025 試合観戦 ↓FC Emmen vs Excelsior Rotterdam(De Oude Meerdijk)
12月9日(月) グラウンドで軽くトレーニング ↓エクセルシオール
12月10日(火) ◎親善試合 藤枝明誠 vs エクセルシオール ↓フェイエノールトアカデミー ↓フェイエノールト指導者によるサッカークリニック ↓ファンシヨップでショッピング ↓ロッテルダム市内観光
12月11日(水) ◎マルクトハル (巨大なフードマーケット)パト集合住宅が合体 ↓レックケルク街散策 ↓UEFAユースリーグ 試合観戦
12月12日(木) ◎Feenoord Onder 19 vs Sparta Praag Onder 19 ◎アムステルダム国立美術館 ◎ザンセスカンス風車村観光 ↓スキポール空港↓成田空港
12月13日(金) 成田空港↓学校到着



Goedzo!



親善試合

高1寒稽古

2月10日から5日間実施された寒稽古では、男子が柔道や剣道、女子が持久走に取り組みましたが、寒さや疲れに負けず、仲間の存在に刺激されながら最後までやり抜く力を養いました。特に最終日には、晴れ晴れとした生徒の表情を見ることができました。



柔道



持久走

中学耐寒持久走

2月14日、中学行事として耐寒持久走が開催されました。天候に恵まれ、暖かい日差しの中、生徒たちがそれぞれの限界に挑戦する姿が非常に印象的でした。これからも結果にこだわらず、この過程を大事にして、何事にも自分のペースで走り続けてほしいと思います。



二十歳を祝う会

令和7年1月4日に小杉苑で行われました

祝う会に参加して

内進15期・高校38期生
龍崎心



この度は、私たち15期生のために盛大な会を催して頂きまして、誠にありがとうございました。久しぶりに同級生と再会し、当時の雰囲気と変わらず会話を楽しむことができ充実した時間を過ごすことが出来ました。また、中学や高校時代にお世話になった先生方に成長した姿を見せることができ、1人の大人としての責任を再確認する良い機会になりました。

先生を囲んで内進15期生集合!



私は現在、東京の大学で勉強と部活動の両立に励んでいます。周りで支えて下さる方々に常に感謝の気持ちを持ち、自分の理想の大人の姿に近づくことができるよう全力で努めていきます。

意欲的な活動をする生徒たちを応援するため、ご協力をお願いします。

ご寄付のお願い

藤枝明誠中学校高等学校では部活動への支援や教育施設・設備整備のための寄付金を募集しております。詳しくは学校ホームページまで。
(寄付金額に応じて税制上の優遇措置を受けることができます。)

寄付募集要項

- 目的/学教育環境の充実を図ることを目的とします
- 用途/施設・設備等の整備や部活動への支援のため
- 募集期間/令和7年3月31日まで
- 寄付方法/現金または振込でお願いします

■ 詳しくは学校ホームページをご覧ください ■
<https://www.fgmeisei.ed.jp/donation/>



第77回全国高等学校バスケットボール選手権大会 WINTER CUP 2024 全国大会

Best 8

12月27日、東京体育館にて準々決勝インターハイ覇者の東山(京都)に挑みました。試合序盤から先行。一時10点近くのリードを奪いましたが、最後は82-83と1点及ばず冬の戦いを終えました。



集大成



35 HR 野田 凌吾 (愛知県小牧市立小牧西中出身) 年末にも関わらず沢山の応援がありとうございしました。目標の「日本一」には届きませんでした。試合を重ねるごとにチームの結束力が高まってきました。特に、準々決勝の東山高校

戦では、藤枝明誠高校に関わる方々に希望と感動を届けるというチームの理念を体現することができたと感じています。 今年は自分たちの取り組んでいることに自信を持つことができず、例年に比べて自分たちの成長を実感することがあまりできない苦しい時期が続きました。しかし、そんな中でも3年生を中心に、「何をすれば勝てるのか」「何をしたら成長できるのか」などチームがより良くなるための方策を話し合い、実行し、試行錯誤しながら粘り強く取り組みました。

最終的に目標を達成することはできませんでした。3年生はこれまで培ってきた経験を今後必ず活かしていきます。1・2年生は今回の大会で感じたことを忘れず、負けた「1点」にこだわって練習を積み、来年のウィンターカップで優勝できるように頑張ってください。また、これからのバスケットボール部への応援を宜しくお願いします。

令和6年度静岡県高等学校新人体育大会サッカー競技

新人戦を終えて



21 HR 山本 洸弥 (浜松市立富塚中出身)

新体制の初陣となった新人戦は、私個人としてもポジションがフォワードからセンターバックに変わって初めて挑んだ公式戦でもありました。1、2回戦を突破し、3回戦の清水東戦ではゲームキャプテンに指名され、攻守ともに戦い抜い

て勝利を収め、準々決勝へと駒を進めました。そして迎えた藤枝東高校とのいわゆる「藤枝ダービー」では、自分たちの持ち味であるカウンターやサイド攻撃がうまく機能し、4対0と大差をつけて勝つことができました。まだまだ自分たちの強みである攻撃的なサッカーができません、個人としてもラインのコン



Best 4

をまとめる難しさなど多くの課題を痛感するとともに、自分たちにまだまだ伸びしろがあるということを実感することもできました。準決勝の静岡学園戦では自分のミスで失点し、味方の奮起によって同点に追いついたものの後半に失速し、1対3の敗戦。ベスト4でこの大会を終えました。

今後は課題である声の掛け合いや勝負強さを改善し、国立競技場でプレーをすることを目標に、チームで高め合っていきます。個人としても県で1番のセンターバックとなってチームを全国大会に連れていくことができるよう、日々全力で取り組んでいきます。

男子バレー部 令和6年度静岡県高等学校新人体育大会

令和7年1月25日から2月1日までの期間をかけて「令和6年度静岡県高等学校新人体育大会バレーボール競技 兼 第43回静岡県高等学校バレーボール選手権大会」が行われました。



春に向けて



25 HR 鈴木 南和斗 (浜津市立大富中出身)

私たちは、1月11日、12日に行われた静岡県新人体育大会中部地区予選、25日に行われた県大会に出場しました。

予選の静岡北高戦では、自分のスパイクが何度もブロックにつかまり、試合中に切り替えができません。最終的な負けがましい、最終的な

果率をどう上げるかが大きな課題です。勝つためにチームの一人一人がこの課題を理解し、普段の練習で意識を高く持ち続けることが必要です。これらの課題を改善していき、3か月後のインターハイ予選では、しっかりとチーム力を発揮し、県大会ベスト8を目指します。

結果は7位という納得のいく形で県大会出場は叶いませんでした。県大会では、主力の怪我をカバーしきれず、初戦敗退という悔しい結果となりました。この大会から個人の課題、チームの課題が多く見つかりました。個人として自分の試合中の気持ちの切り替えができないという点、打つコースの選択の判断という点で課題を見つめました。チームでは、コート内の雰囲気が悪い時どのように立て直すか、サーブの狙いや効

陸上部 天皇盃 第30回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会(ひろしま男子駅伝)

1月19日、広島市の平和記念公園前を発着点に7区間48キロで競われ、静岡県チームの4区を明誠の生徒が力強く走り抜きました。

3年越しのベスト



34 HR 木村 隆晴 (沼津市立今沢中出身)

私は1月19日に広島にておこなわれた全国男子都道府県対抗駅伝に、静岡県代表として出場しました。この大会は中学生から社会人までの各世代の都道府県代表が襷をつなぐ歴史ある大会です。私は3年前にメンバー入りしましたが、コロナの影響で大会が中止となってしまいました。初めての舞台は悔しい結果に終わってしまいましたが、全国トップレベルの選手と競う貴重な経験ができました。



写真提供/静岡新聞社

に、必死で前を追いかけました。しかし終盤にペースを落とし、順位を下げるようになってしまいました。それでも他の区間で大学生や実業団の選手たちが大きく順位を上げ、静岡県チームは昨年より良い順位でゴールすることができました。初めての舞台は悔しい結果に終わってしまいましたが、全国トップレベルの選手と競う貴重な経験ができました。大会直前は、緊張と不安で泣き出しそうになることもありましたが、チームメイトは「俺が勝たせるから、お前は自信を持って気楽にスピードしてこい」と私を支えてくれたことで、自分の力を信じて臨むことができました。また当日は、全員が過去最高のスピードスコアを出し、念願の県大会優勝を果たすことができました。私たちが、どんな状況でも「明誠はいつも通り泥臭くやる」という意識を持ち、パフォーマンスを向上させてきたからこそ得られたのだと感じています。全国大会では勝負がきつ、昨年度の結果を超えられるように、そして周囲の方々への感謝を忘れずにチーム一丸となって再度頑張っていきたいと思います。これからも応援よろしくをお願いします。

リベラルアーツ HPDU連盟杯 静岡県大会優勝 チーム一丸となってつかんだ全国大会



26 HR 松永 柊 (菊川市立岳洋中出身)

入部して初めての練習参加、何十分も考えた末に実際にスピーチできた時間はわずか30秒。その中で先輩たちの堂々とした姿に圧倒され、「これが本物のディベートなんだ」と緊張感と共に強く印



※3月の全国大会に出場

チアリーディング部 "Daisies" 2025 WORLD SCHOOL CHEERLEADING CHAMPIONSHIPS 2025年2月7日(金)~9日(日)、アメリカ合衆国フロリダ州オーランド ディズニーマワールド内 ESPN Wide World of Sports Complexで行われた大会に出場しました!



The 2025 World School Cheerleading Championshipsで VARSITY GAME DAY 第1位 NATIONS RANKINGS 第1位 になりました!